

谷川小学校の ESD 活動

<活動の概要>

- ・「自然を愛し、自然に学ぶ谷川っ子」をテーマとし、実践を通して、ふるさとを愛する心と地域とのかかわりの中から課題を見つけ、主体的に判断し、よりよく活動できる力の育成を目標としている。

・活動の実際

① 「みかん大好き」に関わる学習（3年）

校庭のみかん園には、30本ほどの早生、ネーブル、清見、甘夏などが植えられている。4月に甘夏の収穫をし、総合的な学習をスタート。7月には、地域のみかん博士に教えていただきながら、摘果作業を行う。育て方や種類、栄養など一人一人がテーマをもって調べ学習を進め、観察と世話を続け、11月には甘く実った温州みかんをたくさん収穫する。また、1年間の学習のまとめとして、2年生や保護者、みかん博士を招待して発表会を行い、学習の成果を発表している。



3年「みかんの収穫」

② 「ホタルのすむ里 谷川」に関わる学習（4年）

ホタルの飼育を通して環境問題を考える活動に取り組んでいる。校区の半尻川のほとりに、毎年6月頃美しい光を放ってホタルが飛ぶ。全校や地域に呼びかけ、連日観察数を全校放送で知らせている。毎年、卵からたくさんの幼虫を孵化させ、毎日餌のカワナナやキャベツの様子を見て、水槽の温度管理や掃除を続け、大切に育てる。11月には校内のホタル園と半尻川に放流する。1年間ホタルについて追究してきた成果をホタル保存会だよりで発表し、豊かな校区の自然環境を守っていこうという意識が高めている。

③ 「育てよう谷川米」に関わる学習（5年）

5月末に地域の方の田んぼを借りて、田植えをする。秋になると、黄金色に実った稲穂を収穫する。実際に自分の手で田植えや稲刈りを行うことにより一粒の米も大切に扱う気持ちが芽生える。11月には脱穀を行う。毎年100kg以上の収穫がある。収穫した米は、全校児童におすそ分けし、みんなで収穫を祝う。「お米感謝の会」で、1年間を通して追究してきた成果をパワーポイントにまとめて、保護者や地域ボランティアの方に発表している。

④ 「民芸教室（昔遊びを楽しむ会）」に関わる活動（1年）

めんこやけん玉、こまなど、お年寄りから様々な昔の遊びを教えていただきながら、お年寄りの方々の生き方にふれ、思いやりの心を育むよい機会となっている。